

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況等の取り組みについて



建設業界では全体的にIT化が遅れており、業務効率化がなかなか進まず、労働生産性の低い状態が続いています。

建設業の現場は、まだまだアナログ業務に依存しております。

情報の多くは紙による管理であり、連絡は電話がほとんどです。

エビデンス処理は、メールではなくFAXが利用されることが多いです。

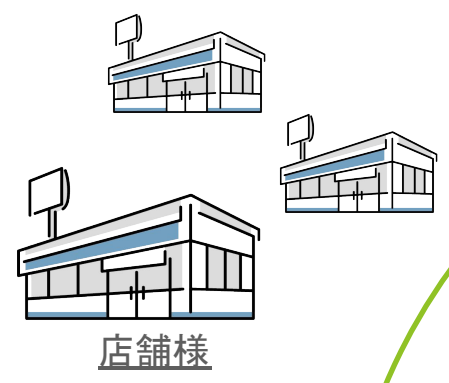
『作業の依頼から工事の完了までをFAXで送信する』という、アナログな業務があたりまえのように続いております。

建設業は、経験豊富な高年齢労働者が多いこともあり、

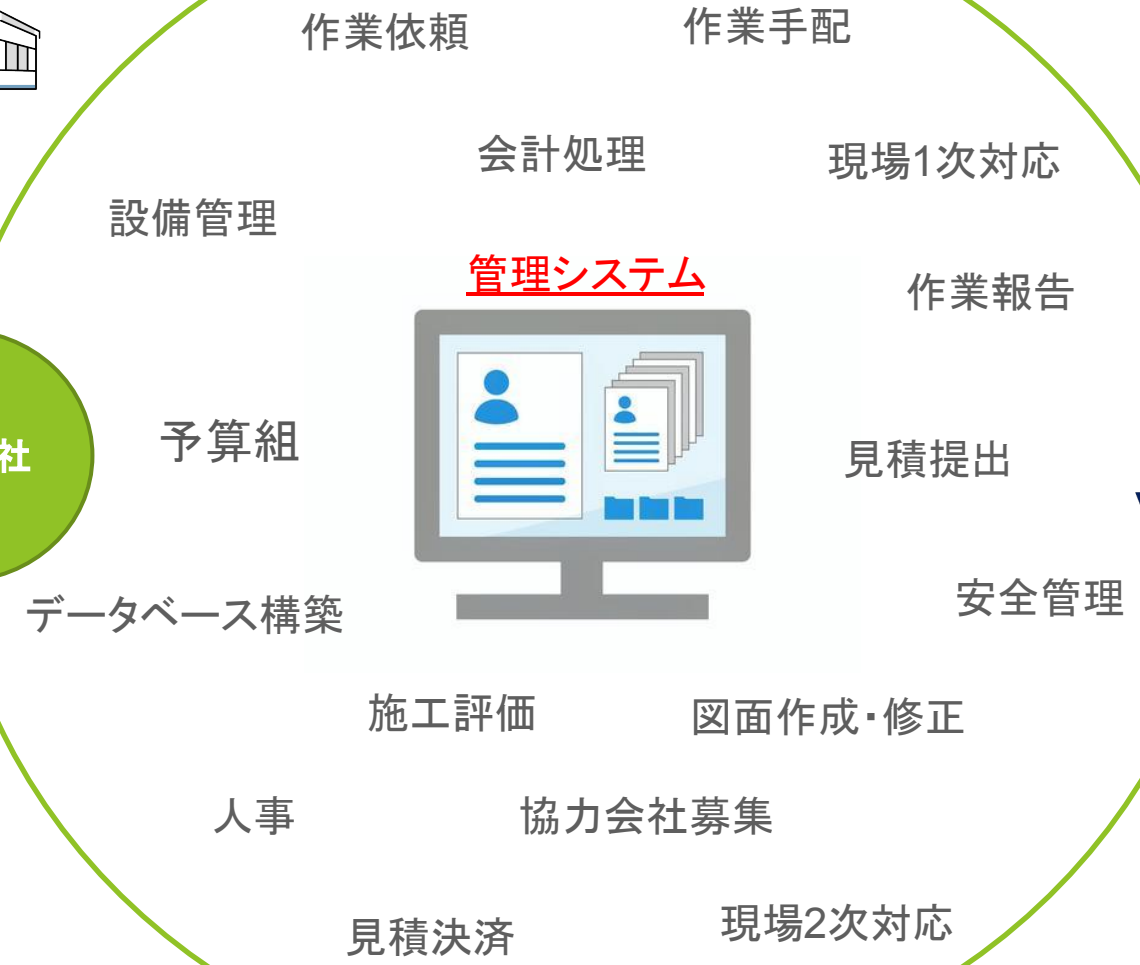
これまでのやり方を変えることに抵抗がある人が多かったり、ITやデジタルといったものに抵抗感を強く示す人がいたりします。

我々ユメデン建設は、施主様、元請様、協力会社様、とシステム連携により、建設業のIT化の遅れを改善し、未来の建設業に向けた取り組みを実施します。

DX構築イメージ



契約会社





データを一元化し蓄積することで、工事の傾向・予算や・事前に修繕するポイントを把握することを可能にします！！

トラブル解消までの
時間短縮

進捗確認

異動の際の引継短縮

決済承認時間短縮



作業の質

作業時間短縮

報告時間

手配時間短縮



DX推進イメージ

